

2021.9.15
発行

No.
47

まひの保育



発行者／愛媛県保育協議会

会長／合田 史宣

作成者／総務広報部会

編集責任者／菊池 弥生

発行所／愛媛県保育協議会

松山市持田町三丁目8番15号

愛媛県社会福祉協議会内



松山市北条ふるさと館 多目的広場

「保育の底力」

愛媛県保育協議会 会長 合田 史宣



私たち人間は、多くの心地よい感覚の中で生きています。しかし、コロナ禍で失われてしまった感覚は非常に多かったのだろーと思ひます。人が寄り添い、歌うような楽しみ方はできなくなっています。が、保育という営みは、三密であり、不要不急の活動の中にこそ本質的なものがあるのです。一緒に歌うことができない保育では、共に生きる経験ができないでしょう。心地よい感覚とは、三密と不要不急の部分から多くを得ています。そのような中で、不要不急のことを全くやらない社会になると、心地よいという感覚が生まれづらくなってしまうのではないのでしょうか。

保育が第一に目指すべきは、心地よい感覚を育てることだと思ひます。一緒にいて心地よいという感覚は、子どもの時期だからこそ身につけることができるものです。このような経験がなくなってしまうと、子どもたちの感覚はいかに殺伐としたものになってしまうでしょう。

コロナ禍であっても、子どもたちは成長を続けています。私たち保育に関わる者は、そのような心地よさを感じることができ環境を提供しなければなりませんし、子どもたちに新型コロナウイルス感染症がない日常と同じ心地よさを提供しなければなりません。それは、予想以上に難しいことだと思ひます。しかし、それができるのも保育に携わる者だからこそです。今あるものを最大限に活かしながら保育を営んでいくこそ、保育の専門性です。

私たちが悪戦苦闘しながら子どもたちに心地よさを届けようとする。ことと同じように、子どもたちもまた、悪戦苦闘しながら成長しています。こうした苦勞が、コロナ禍が終息したときに実を結ぶことを願ってやみません。共に生きようとするにこそ保育の底力があるのだと思ひます。

令和3年度 愛媛県保育協議会役員

役員改選を行いましたので、下記のとおりご報告します。

会 長・・・合田 史宣 副会長・・・中川 恵津子、菊池 弥生、八木 幸美、毛利 由美
 常務理事・・・若藤 憲二 監 事・・・山本 恵、伊藤 智子

◆総務広報部会

No.	氏 名	支部名	施設名	公私	備考
1	菊池 弥生	四国中央市	小林保育園	公	正
2	逸見 佳子	松山市	浮穴保育園	公設	副
3	河野 謙三	宇和島市	尾串保育園	私	
4	青野 浩	西条市	わかば保育園	私	
5	井門 智恵	今治市・上島町	九和保育所	公	

総務広報部会は、各園や各支部の取り組みなどの保育情報を、機関紙「えひめの保育」やホームページに掲載して、会員の皆様へお届けしています。また、研修会に参加した方の感想やアンケートなど、皆様の声を取り上げ、発信していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いします。

部会長 菊池 弥生

◆調査研究部会

No.	氏 名	支部名	施設名	公私	備考
1	毛利 由美	北宇和郡	小松保育所	公	正
2	渡邊 亜紀	喜多郡	五城保育園	私	副
3	清水 理香	伊予市	中山認定こども園	公	
4	鵜久森真弓	松山市	久米保育園	公	
5	清家 泰子	八幡浜市	千丈保育所	公	
6	松本恵理子	西宇和郡	伊方保育所	公	
7	山下 美穂	宇和島市	岩松保育園	公	

調査研究部会は、県内の保育所や保育士、そして子どもたちの現状がどうなっているのかアンケートを取り「見える化」することによって、自園のことだけでなく、他市町の状況を共有し、働きやすい職場やよりよい保育環境を整備するためには、どうすればよいかを考える機会にしたいと考えています。

取り上げて欲しい事項があればお知らせください。

部会長 毛利 由美

◆研修部会

No.	氏 名	支部名	施設名	公私	備考
1	中川恵津子	松山市	幼保連携型認定こども園 法龍寺こども園	私	正
2	福家 章二	西条市	幼保連携型認定こども園 さくら保育園	私	副
3	井田 仁美	新居浜市	めぐみ保育園	私	
4	桑田 智子	今治市・上島町	菊間保育所	公	
5	富田 円枝	松山市	小規模保育所 どれみ保育園	私	
6	鈴木 裕美	松山市	南保育園	私	
7	金子 文	西予市	田之筋保育園	私	

研修部会は、「保育士等キャリアアップ研修」をはじめとし、職員の「資質の向上」のみならず職務内容に応じた「専門性の追求と向上」を図るための研修を、年間通して行います。

充実した研修を行い、個人はもとより園全体のレベルアップにつなげていきたいと思っております。

部会長 中川 恵津子

◆実践研究部会(保育士部会)

No.	氏 名	支部名	施設名	公私	備考
1	八木 幸美	東温市・久万高原町	川内保育園	公	正
2	垂水 知縫	西条市	国安こども園	公	副
3	高橋 裕子	四国中央市	寒川保育園	公	
4	渡辺 寿美	新居浜市	若宮保育園	公	
5	小澤ふじみ	今治市・上島町	小西保育園	私	
6	渡部 悦子	伊予郡	広田保育所	公	
7	日浦 和美	大洲市	徳森保育所	公	
8	竹中千佐子	南宇和郡	緑保育所	公	

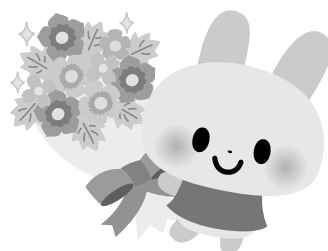
実践研究部会(保育士部会)は、全国保育士会と連携をとりながら、実践研究に取り組んでいます。充実した研修を行い、保育所保育、保育士の資質向上につなげていきたいと思っております。

よろしくお願いします。

部会長 八木 幸美

令和3年度 愛媛県保育協議会 会長表彰 受賞おめでとうございます！

No.	支部名	施設名	氏 名
1	新居浜市	新居浜南沢津保育園	伊藤 智子
2		新居浜八雲保育園	秋山佐久子
3		船木保育園	安藤 昌子
4		東田保育園	神野 志信
5	今治市・上島町	城東保育所	村上 美紀
6	伊予市	上灘保育所	米井 秀子
7	松山市	松山市役所保育・幼稚園課	松浦ゆかり
8		つばき保育園	増田 秀子
9		味生保育園	清川 和恵
10		余土保育園	野本 智恵
11	西予市	三瓶保育園	森田 洋子
12		俵津保育所	西川 鈴子
13		野村保育所	高橋 ゆり



長年にわたり、本県の保育事業の発展に寄与された方々を、令和3年7月28日(水)に開催された第66回愛媛県保育事業研修大会において表彰しました。このたびは、誠におめでとうございます。

令和3年度 研修等日程のお知らせ

No.	名 称	期 日	会場(特設会場)
1	教育・保育施設初級職員研修会	6/1(火)～6/15(火)配信	
2	保育関係者交流セミナー	6/21(月)～3/31(木)配信 6/20(日) WEB交流会	愛媛県総合社会福祉会館
3	保育士等キャリアアップ研修「①乳児保育」	6/28(月)～7/5(月)配信	愛媛県県民文化会館
4	四国ブロック保育研究大会	7/1(木)開催 7/8(木)～7/22(木)配信	徳島グランヴィリオホテル
5	第66回愛媛県保育事業研修大会	7/28(水)開催 8/13(金)～8/27(金) 配信	愛媛県総合社会福祉会館
6	保育士等キャリアアップ研修「②幼児教育」	8/10(火)～8/17(火) 配信	
7	保育士等キャリアアップ研修「③障がい児保育」	8/26(木)～9/2(木) 配信	
8	保育士等キャリアアップ研修「④食育・アレルギー対応」	9/14(火)～9/21(火) 配信	愛媛県総合社会福祉会館
9	保育士等キャリアアップ研修「⑤保健衛生・安全対策」	10/4(月)～10/11(日) 配信	
10	保育協議会事例発表会	11/10(水)～11/24(水) 配信	
11	保育士等キャリアアップ研修「⑥保護者支援・子育て支援」	11/11(木)～11/18(木) 配信	
12	四国ブロック保育組織次世代リーダー研修会 四国ブロック保育士会リーダーセミナー	12/17(金)開催	愛媛県県民文化会館
13	教育・保育施設長研修会	12/21(火)開催	
14	保育士等キャリアアップ研修「⑦マネジメント研修」	1/25(火)～2/1(火) 配信	愛媛県総合社会福祉会館
15	保育士等キャリアアップ研修「⑧保育実践研修」	2/9(水)～2/16(水) 配信	

令和3年度の私たちの取り組み

本会では、1年間を通じた様々な研修会を実施しています。ここでは、各研修会の主な内容や、参加された先生方の感想を掲載します。

教育・保育施設初級職員研修会 6月1日(火)～6月15日(火)配信

講義Ⅰ 「愛情深い保育を考える」

講師 松山東雲女子大学 人文科学部心理子ども学科
准教授 出原 大氏

講義Ⅱ 「伝承あそびは子どもの育ちを助ける」

講師 うさぎのしっぽ 代表 曾我部 安子氏

講義Ⅲ 「保育士として」

講師 つどいの広場ぐー・ちよき・ぱー 代表 越智 ミドリ氏

教育・保育施設初級職員研修会を受講して

鬼北町 さくら保育所 河本 実佳

今回の研修の中に、「保育所の役割を果たすための保育士とは」というテーマがあり、保育所に勤めて一年目の私にできることは何かということを考えさせられました。子どもの権利条約の中に「できない」「できない」で差別してはいけない、一人の人間として尊重されなければならない、また保育士は子どもの気持ちを受け止めていく必要がある、ということが記されています。自分の保育を振り返った時、「できる子」と「できない子」を比較してしまい、「できないことへの焦り」が「保育の余裕のなさ」に繋がっていることに気づきました。「もっとこんなことができるようになってほしい」という気持ちが強ければ強いほど、その子どもにとっては、負担になっていたかもしれません。「できる」「できない」で捉えるのではなく、一人ひとりの個性をよく理解した上で、どのようにすれば長所を伸ばしていけるか考えながら、子どもの成長を見守っていきたいと思いました。子どもの「できた」に共感し、保護者と共に成長を喜ぶことができる保育士でありたいと感じました。

保育士等キャリアアップ研修「①乳児保育」

6月28日(月)～7月5日(月)配信

保育士等キャリアアップ研修「①乳児保育」を受講して

愛南町 はまゆう乳幼児保育所 藤井 佳奈

今回の研修を受講して、「今の子どもの姿」を理解し受け止めることができているのか、日々の保育を振り返ることができました。その中でも「共感」「温かいまなざし」「今の子どもの姿」の3つのワードは、どの講義でも度々出てきて、とても印象的でした。

私は現在、0歳児を担当しています。子どもとの触れ合いの中で、子どもがちょっとしたしぐさや表情、目線等で保育者に気持ちを伝えようとした時に、それをキャッチして「風が気持ちいいね」「○○したいのね」と共感すると、子どもたちは「解ってもらえたんだ」と表情が和らいだり、身体を揺らしたりして気持ちを表現します。そのような姿を見ると、子どもの成長を感じ、とても嬉しく思います。まさに、この瞬間には、3つのワードが全て入っていることを改めて感じました。しかし、いつもこうでありたいと思いつつ、日々の保育を振り返ると「わかったよ」「ちょっと待って」と保育者主導で見たり、育て急いだりして、時に温かいまなざしでない場面があったと反省しました。

講義の中で、子どもの心をのびやかに育むためには、「子どもが何を見て、何を感じ、何を求めているのかを受け止めて、子どもの今の姿を知ること」と「子どもの行動一つひとつには意味があり、大人が受容的・応答的に関わって温かなまなざしを向けること」として「豊かな遊び」が大切だと学びました。それらをしっかりと心に留めて、子どもの「イヤだ」と怒る姿や「ダメ」と泣く姿、「やってみたい」「楽しい」と笑い喜ぶ姿等、変化する気持ちを受け止め共感しながら、今の子どもの姿を見つめて保育に励みたいと思います。

四国ブロック保育研究大会 7月1日(木) 徳島グランヴィリオホテル

7月8日(木)～7月22日(木)配信

基調報告Ⅰ

全国保育協議会 会長

奥村 尚三氏

基調報告Ⅱ

全国保育士会 会長

村松 幹子氏

中央情勢報告

厚生労働省子ども家庭局 保育課長

矢田貝 泰之氏

分科会1テーマ

「子どもの育ちを保障する」

①新たな時代の保育実践へすべての子どもにむけて、

②配慮を必要とする子どもや家族への支援にむけて

③保育者の資質向上を図る

分科会2テーマ

「子育てライフを支援する」

「多様な連携と協働をつくる」

④地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

⑤子どものより良い育ちに向けた関係機関とのネットワーク

分科会3テーマ

「子育て文化を育む」

「子育て・子育ての支援する仕組みをつくる」

⑥「食を営む力」の基礎を培う食育の推進

⑦保育の社会化に向けて

⑧公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

記念講演

「現在(いま)を生きる子どもを育てる」主体性を育む保育とは」

講師 玉川大学 教授 大豆生田 啓友氏

四国ブロック保育研究大会を受講して

四国中央市 小林保育園 宮本 麻衣子

ここ数年で生活形態はガラリと変わり、保育・教育の場においても、大きな影響がありました。これまで当たり前だったことが、当たり前でなくなった「現在」だからこそ、逆に、はつきりとして見えてきた大切な気付きも多々ありました。

また、時代と共に変わる常識にハッとさせられることもあれば、昔から大事にされてきた保育の資質を、やっぱりこのことは変わらず大事にしていきたいと、講話や研究発表を視聴する中で再確認できました。

大豆生田先生のお話は、聞いているだけで何だか心がワクワクしてきて「なるほどーこんな考え方や見方があったのかー」とまるで、子どもたちがおもしろいことに出会った時と同じようなときめきと感動で、胸がいっぱいになりました。そして、同時にとても穏やかで優しい気持ちになり、私もこのように一人ひとりの思いを大事にする、楽しく温かい保育がしたいと思いました。

現在を生きる子どもたちに対して、子育てのプロとして私たちができること、そして、すべきことは何か？一人ひとりのその子らしさを大事にする保育ができているか？ということ、日々、丁寧に自己評価したいです。そして、未来に向かって「生きるってこんなに楽しいんだー」と実感することができる感動体験を、自分も含め、子どもたちにも与えていけるよう、学んだことをこれからの保育実践に活かしていきたいと思います。

「コロナ禍での2年目にむけて」

西条市 わかば保育園 青野 浩

昨年の夏は残念ながらプール遊びは中止し、水遊びや泥んこ遊びをしましたが、今年は、二日二つのプールで、一クラスのみので、シャワーの時間をずらして少人数になるように対策をして、プールを実施しています。プール開きでは、安全に楽しくプール遊びができるよう水の神様にお祈りしました。久々のプールはとても気持ち良かったようです。当園は地下水を利用しているため、冷たいということもあります。今年は、お天気がいい日にはたくさんプール遊びをしたいものです。

全国的にRSウイルス等の感染症にかかる子どもたちが増加しています。医師の話では、手洗いやマスク、外出を控えたことで、免疫を持たない子どもたちが増加し、一気に感染が広がっているそうです。他の感染症でも同様の状態になる可能性がありますので、これから感染対策をしっかりしていきましょう。





おすすめの本



りんごころころ



【文】
もぎ あきこ
【絵】
森 あさ子
【出版社】
世界文化社

手遊び歌「りんごころころ」が絵本になりました。表情豊かな、色鮮やかな野菜・果物たちが想像力をかき立てます。ぜひ、子どもたちと一緒に歌って、楽しんでください。

読み手と聞き手が繰り返し、歌いながら楽しめる絵本です。

おやつトランポリン



【文】
大塚 健太
【絵】
小池 壮太
【出版社】
白泉社

「いっちに いっちに…」とおやつたちが走って来て、「ぼよーん」とトランポリンをします。

さて、どこに着地するのでしょうか？とにかく擬音語が楽しい！思わず「なんて可愛いんだ！」と叫んでしまいます。個人的には「ばたばたばた…」と走るバターさんが好きです。

ねばらねばなっとう



【作】
林 木林
【絵】
たかお ゆうこ
【出版社】
ひかりのくに

替え歌絵本「静かな湖畔」のメロディーで歌って、読んでください。なっとうの運動会の様子が言葉遊びと共に、生き生きと描かれています。

「ねばねばしんぶん」からの探し絵も楽しめます。なっとうだけに「ねばれよ ねばれよ ねば一ぎぶあつぷ！」運動会時期におススメです。

たべものやさんしりとりしたいかい かいさいします



【作】
シゲタ サヤカ
【出版社】
白泉社

商店街の食べ物屋さんが「しりとり大会」をすることになりました。さて、優勝するのはどのお店でしょうか？

子どもたちの大好きな「しりとり」も十分楽しめます。笑いあり、涙あり…

そして最後まで諦めないこと！

最後の『大どんでん返し〜！』必見です！

おにぎりに はいりたいやつ よっといで



【作】
岡田 よしたか
【出版社】
佼成出版社

具のないおにぎりたちが、具を求めて旅に出ます。無事におにぎりたちは、お気に入りの具に出会えるのでしょうか。作者の代表作「うどんのうーやん」も出てきます。岡田さんの描く「食べ物」は目・鼻・口は描かれていないのに、表情・心情が解るのが不思議…

絵も隅々まで堪能してください。

今回のテーマは「食べ物絵本」です。その中でも「参加型」絵本をご紹介します。食べ物は子どもたちにとって、一番身近なものですよね。どの年齢の子どもも見て、想像しやすいと思います。

また「絵を読んで」ください。そうすればいろんな「隠し絵」を見つけられます。こういうことは、子どもたちが得意ですよ。

ぜひ、子どもたちと絵本を体感してください。

おはなし屋えっちゃん 武知悦子



願いごとが
かないます
ように♡♡



【編集後記】
新型コロナウイルス感染症が長期化するなか、各種行事等も中止や変更を余儀なくされる日々が続いています。
7月7日の七夕には、各保育園の園児たちが大きな笹に七夕飾りや願い事を記した短冊を飾り付けました。「ころながなくなりますように」「おばあちゃんのうちにあそびにいけますように」「おでかけができますように」と、新型コロナウイルス感染症終息の願いを込めた園児もいました。
コロナ禍で伝統行事も縮小されたり、形を変えて実施されたりしている状況ですが、一日も早く平穏な日常が戻り、人々が幸せに暮らせるよう、切に願っています。